

原材料 成分調査書 入力マニュアル

Ver. 2.06
2009/3/13
株式会社東海理化

変更履歴

Ver.	変更日	変更箇所	
		シート名	説明
2.00	2005/2/1	概要	(2)内容:「微量成分報告物質リスト」より「環境負荷物質申告物質リスト」に変更
			(4)回答方法:ギリシャ文字使用不可追加
			(6)今後の対応追加
			(7)記入要領 調査の前提 追加
			含有部位コード:微量成分報告物質リスト削除
			(8)・成分調査依頼に関するお問合せ先:電話番号追加 ・総合のお問合せ先:担当者一部変更
		調査の前提	シートの追加
		原材料成分調査回答書 宣言文 記入例	色番号追加 色追加 備考:数字のみ 機密物質追加 物質名:CasNo.がNAの場合は必須より全て必須に変更
		原材料成分調査書入力方法-材料情報	・例題を金属から樹脂に変更 ・機密物質のフィールド追加
		原材料成分調査回答書記入例	4.2 Other special metals 「その他の特殊金属」に変更
		原材料成分調査回答書悪い記入例	5.1 Thermoplastics 「熱可塑性樹脂」の削除 5.4.3 Others Duromrrs 「その他の熱硬化性樹脂」に変更 5.5.1 Plastics(in polymeric compounds) 「高分子複合材に含まれる樹脂」に変更 5.5.2 Textiles(in polymeric compounds) 「高分子複合材に含まれる繊維(織物)」に変更
		IMDS材料分類 英日対照表 (Ver.1.10)	微量成分報告物質リスト 削除
		2.01	2005/4/18
		調査の前提	問合せ先 電話番号0587-95-0191(技術管理部直通)に変更
2.02	2006/1/1	ELV指令 Annex II 適用除外リスト	シートの変更
2.03	2006/11/15	概要	(2)内容:「環境負荷物質申告物質リスト」から「環境負荷物質リスト」に変更
			(7)記入要領 VDA材料分類コード:「IMDS材料分類コード」から名称変更
			(8)総合のお問合せ先:担当者一部変更
		原材料成分調査書入力方法-材料情報	含有率についての説明の変更
		原材料成分調査回答書記入例	・記入例の様式変更 ・記入例の追加(金属、ゴム、塗料)
		原材料成分調査回答書悪い記入例	・悪い記入例の説明の変更
		VDA材料分類 英日対照表	「IMDS材料分類 英日対照表」から名称を変更
含有目的コード	FORD/MAZDAコードリストの削除		
2.04	2008/1/23	概要	(8)総合のお問合せ先:担当者一部変更
		原材料成分調査書入力方法	記入帳票修正による変更
		原材料成分調査回答書記入例	記入例の様式変更
		原材料成分調査書入力方法-材料詳細	必須項目と付随する注意事項の内容を変更
		原材料成分調査回答書メッキ材記入例	シートの削除
		原材料成分調査回答書入力情報チェック	シートの追加
2.05	2008/8/28	調査の前提等	「環境負荷物質リスト」から「GADSLリスト」と「東海理化 原材料調査規制物質リスト」に変更
		原材料成分調査回答書記入例	記入例の様式変更
		原材料成分調査書入力方法 - 宣言文記入欄	シートの追加
2.06	2009/3/13	原材料成分調査回答書入力情報チェック	説明文の追記
		原材料成分調査書入力方法-材料詳細	説明文の追記
		原材料成分調査回答書記入例	GADSLリスト欄:入力例
		概要	(8)総合のお問合せ先:担当者一部変更

概要

- (1) 対象：
弊社に納入いただいている材料全て。弊社に直納されるもの、弊社製品の形で間接的に納入されるもの両方を含みます。
対象品は弊社よりご連絡致します。対象品数が多い場合はリストデータも用意致します。
- (2) 内容：
材料に含有する全ての化学物質の名称及びその比率。
・意図的な添加の場合：管理値(できるだけ詳細に)を入力して下さい。
(意図的：最終製品の特性、外観、品質保持のため持続してその物質が製品中に存在することが必要とされる場合は意図的な添加とみなします。)
・非意図的な添加の場合：「GADSLリスト」と「東海理化 原材料調査規制物質リスト」の両リストに記載のある物質は、必ず入力して下さい。
「GADSLリスト」と「東海理化 原材料調査規制物質リスト」の両リストに記載されていない物質は、0.01%以上又は規格表示レベルを入力して下さい。
- (3) 調査方法：
対象材料と回答書式を別途Eメールで送付致します。
- (4) 回答方法：
・「原材料成分調査書」に調査結果を入力の上、依頼書に明示されている回答送付先まで提出して下さい。
回答は期限厳守をお願い致します。
・弊社から送付した「原材料成分調査書」での回答をお願い致します。
ファイル形式は極力Excelでご回答下さい。原則として紙面では受け付けませんが、会社方針等により制限のある場合はご相談下さい。
・入力にあたっては、次頁「入力方法」を遵守願います。
尚、入力に不備などがある場合、再度調査をお願いすることになります。
・入力には、特殊文字(丸付き数字、上付き・下付き文字、ギリシャ文字)・関数・セル内改行(alt+enter)を使用しないで下さい。
例) &、H₂O、Ⅲなど
半角カナ文字は、仕入先コード以外には使用しないで下さい。
・仕入先様にて材料を調達されている場合は、製造メーカーへ調査依頼を行い、「成分調査書」の記入をお願い致します。
- (5) 再調査をお願いする場合：
・入力データに不足や不備がある場合
・メーカー指定の閾値が変更になった場合
- (6) 今後の対応：
※一旦報告を頂いた後に、内容などに変更が生じた場合は、変更後の情報を直ちに報告下さい。
※新規納入材料に関しても、都度報告して下さい。

(7) 記入要領:

原材料成分調査書入力マニュアルは以下から構成されています。

- ・調査の前提
- ・原材料成分調査書入力方法 回答者情報と材料詳細情報の欄を仕入先様及び材料メーカー様にて入力をお願い致します。
- ・VDA材料分類 英日対照表 回答書 材料詳細情報の「材料分類」の入力にご利用下さい。
- ・欧州ELV指令 Annex II'リスト 回答書 材料詳細情報の「備考欄」の入力にご利用下さい。
- ・含有目的コード 回答書 材料詳細情報の「含有目的コード」の入力にご利用下さい。

(8) 原材料成分調査依頼に関するお問合せ先:

- ・回答返信先及び入力方法に関するお問い合わせ先:
原材料成分調査係 TEL:0587-95-0191(技術管理部 製品環境室直通)
[e-mail: soc.material@exc.tokai-rika.co.jp](mailto:soc.material@exc.tokai-rika.co.jp)

- ・総合お問合せ先:
調達部 中村 沙樹
[e-mail: saki.nakamura@exc.tokai-rika.co.jp](mailto:saki.nakamura@exc.tokai-rika.co.jp)
技術管理部 製品環境室 水田 幸男
[e-mail: yukio.mizuta@exc.tokai-rika.co.jp](mailto:yukio.mizuta@exc.tokai-rika.co.jp)
施設環境部 環境管理室 西脇 一智
[e-mail: kazutomo.nishiwaki@exc.tokai-rika.co.jp](mailto:kazutomo.nishiwaki@exc.tokai-rika.co.jp)

調査の前提

★重要！！

材料及び副資材に含有する全化学物質とその含有率を、100%開示して下さい。

100%開示困難な場合

1. 秘密保持契約

現状の弊社との取引契約では機密上100%開示できない仕入先様には、秘密保持契約を準備致します。

問合せ先: 原材料成分調査係

[e-mail: soc.material@exc.tokai-rika.co.jp](mailto:soc.material@exc.tokai-rika.co.jp)

TEL: 0587-95-0191 (技術管理部 製品環境室直通)

2. 100%開示が困難で、尚且つ秘密保持契約を締結頂けない場合に限り下記のような方法でご記入下さい。

原材料成分調査書 記入方法について

☆ノウハウのため、材料成分の100%を開示できない場合、下記前提を満たしていればワイルドカードを使用し成分を括ってご報告いただくことも可能です。その際は、必ずワイルドカードの合計が10%未満になるようにご報告下さい。その他CAS番号のないものでも、IMDS (IMDS = International Material Data System) に「化学物質」として登録されているものであれば、ご記入いただいて構いません。IMDSの化学物質登録一覧を閲覧する為には、企業登録が必要です(無料)。詳しくはホームページ <http://mdsystem.com/index.jsp> をご覧下さい。

前提

- ① CAS番号を指定していない物質(「東海理化 原材料調査規制物質リスト」に記載のある物質は除く)内には「GADSLリスト最新版」と「東海理化 原材料調査規制物質リスト」の両リスト内に記載のある成分は含まれていないことを保証する。マニュアル内「成分調査書記入例」(p. 6, 7)を参考にして、回答書内の指定箇所に必要事項を追加して下さい。
- ② 製品付着する対象に関しては、必ず開示して下さい。(製品付着の可能性がないものに関しては、有効数字が%又は0.1%オーダーでも可。ただしMSDS(=製品安全データシート)のように括った形ではなく、1物質1データで開示して下さい。)

CAS番号で特定しない括り方(ワイルドカードとしてみなされる物質名一覧)

物質名	CAS No.	説明
PIGMENT PORTION <顔料成分>	NA	顔料(色顔料、顔料成分、色素)として用いる事が出来る。
ADDITIVES <(高品質化の)添加剤>	NA	例えば重合体(ポリマー)中に含まれる添加物で、その他のワイルドカードで記述されていないもの。
FLAME RETARDANT <難燃剤>	NA	難燃剤は、炎の伝播を妨げるために樹脂製品に配合された基本物質である。
PLASTICIZER <可塑剤>	NA	樹脂製品内の内容物で、製品の成形性に影響を与える成分として用いる事が出来る。
IMPACTMODIFIER <衝撃吸収材>	NA	常温での衝撃挙動に際して影響を及ぼす樹脂材料中の成分として入力することが出来る。
ORGANIC INGREDIENT <有機物質>	NA	純粋な物質(例えば、動物や植物繊維)のように、有機物質として用いる事が出来る
INORGANIC INGREDIENT <無機物質>	NA	ガラスファイバー、鉱物粉、灰分の内容物のように材料内で純粋な物質としての無機物質を記述する場合に使用できる。
MISC <その他>	NA	不純物又は残余物を入力するのに用いる事が出来る。

原材料成分調査書入力方法 - 宣言文記入欄

項目	入力		注意事項
	必須	書式	
1.宣言文	○	プルダウンリストより選択	<ul style="list-style-type: none"> ・化学物質情報欄に「東海理化 原材料調査規制物質リスト」に記載が無く、且つCAS No.を指定していない物質を記入する場合には宣言文を選択し、2から5の項目を入力して下さい。 ・CAS No.を全て開示している場合には「該当なし」を選択し、2から3の項目を入力して下さい。
2.GADSLリストのバージョン	○	半角英数	参照したGADSLリストのバージョン情報を入力して下さい。
3.東海理化 原材料調査規制物質リストのバージョン	○	半角英数	記入してあるままにしておいて下さい。(修正不要)
4.会社名	○ 当てはまる場合のみ必須	指定なし	宣言文の内容を保証していただける責任者様の会社名を入力して下さい。
5.責任者名	○ 当てはまる場合のみ必須	指定なし	宣言文の内容を保証していただける責任者様の役職と氏名を入力して下さい。

原材料成分調査回答書 記入例 (宣言文)

入力情報チェック

宣言文記入欄

CAS No.を指定していない物質(*1)には、下記に記載したバージョンの「GADSLリスト」(*2)と「東海理化 原材料調査規制物質リスト」(*3)の両リスト内に記載のある成分は含まれていない事を証明します。			
GADSLリストのバージョン	2009 GADSL Ver.1	東海理化 原材料調査規制物質リストのバージョン	Ver1.0
会社名	株式会社 材料商社	責任者名	代表取締役社長 材料三部

(*1)「東海理化 原材料調査規制物質リスト」(*3)に記載が無く、且つCAS No.を指定していない物質。

(*2)下記のリンク先より「GADSLリスト」の最新版をご参照の上ご回答下さい。
(参照をしたGADSLリストに記載されているバージョン情報をセルI2へご記入下さい)
<http://www.gadsl.org/>

(*3)下記のリンク先より「東海理化 原材料調査規制物質リスト」を参照して下さい。
[東海理化 原材料調査規制物質リスト](#)

この調査依頼は、「グリーン調達」の一環として全仕入先様にご協力を「成分調査回答書」にて材料成分(全成分)の含有量をご記入の上、ご返

依頼部署 : 調達部、技術管理部、施設環境部
 依頼者氏名 : 原材料成分調査係
 仕入先依頼日 : 2008/xx/xx
 回答期限 : 2008/xx/xx
 回答送付先 : 株式会社東海理化 原材料成分調査係行き
 E-mail: soc.material@exc.tokai-rika.co.jp

調査対象
 東海理化原材料No. : M54321
 東海理化原材料名 : 材料メーカー AB1234C 567-89B ブラック

宣言文をプルダウンリストより選択して下さい。
(該当しない場合には「該当なし」を選択して下さい)

セル I2にGADSLリストのバージョン、セル H3に責任者様の会社名、セル K3に責任者様の役職と氏名を入力して下さい。

担当者情報	
回答する材料成分情報は、下記報告日時点のデータであり、内容に相違ありません。報告内容に変更があった場合は、直ちに変更後の情報を報告します。新規材料についても、都度報告します。	
報告日	2008/08/05
仕入先コード	9999
会社名	株式会社材料商社
所属	営業部 材料営業室
回答責任者	商社一部
Tel	521234567
E-mail	email@shousha.com
会社名	株式会社材料製造
所属	成分開発部 調査室
回答責任者	製造二部
Tel	529876543
E-mail	email@maker.com

材料詳細情報

材料情報											リサイクル情報			
原材料No. (弊社にて記入)	材料名 (半角英数大文字による英語名表記)	材料分類 (VDAコード/リストから選択)	メーカー名 (半角英数大文字による英語名表記)	メーカー商品名・グレード (半角英数大文字による英語名表記)	色番号 (半角英数大文字)	色 (半角英数大文字)	TRES材料記号 (弊社にて記入)	公的規格名	公的規格番号	公的規格材料記号 (樹脂・ゴム・熱可塑性エラストマー以外)	公的規格材料記号 (樹脂・ゴム・熱可塑性エラストマーのみ)	備考 (ELV指令適合NO.)	再生材使用率 (工程内)	再生材使用率 (市場回収)
M54321	POLYACETAL	5.1a	TERIAL MAKER CO.	AB1234C	567-89B	BLACK		ISO	1043	NA	POM-GF30		最小値	最大値
													0	0

化学物質情報							※注意事項	
機密物質	物質名 (半角英数大文字)	CAS No. 半角英数大文字	含有率(半角数字)			JAMA含有目的コード (半角数字)	①含有率に範囲値を使用する際は中間値(最小値+最大値)÷2を算出したが、合計が100%となる様に御願いたします。 (固定値との組み合わせ、範囲値のみで記入する場合) ②CAS No.を指定していない物質をご利用される場合には、必ず宣言文、会社名、責任者名、「GADSLリスト」のバージョンをご記入下さい。 (該当しない場合には「該当なし」をお選び下さい)	
			含有率分類	固定値	最小値			
	POM	NA	3			101		
	FORMALDEHYDE	50-00-0	2		0.0001	0.0004		
	CARBON BLACK	1333-86-4	2		0.7	0.9		
	GLASS FIBER	NA	2		28	32		

原材料成分調査書入力方法 - 回答者情報欄

	項目	入力		注意事項
		必須	書式	
	報告日	○	YYYY/MM/DD (半角)	「成分調査回答書」の報告日を入力して下さい。
仕入先	仕入先コード	○	半角英数 (+半角カタカナ)	記入してあるままにしてお下さい。(修正不要)
	会社名	○ 当てはまる場合のみ必須	指定なし	仕入先様の会社名を入力して下さい。
	所属	○ 当てはまる場合のみ必須	指定なし	仕入先様の回答責任者の方の所属部署を入力して下さい。
	回答責任者	○ 当てはまる場合のみ必須	指定なし	仕入先様の回答責任者を入力して下さい。
	tel	○ 当てはまる場合のみ必須	半角数字 (ハイフン・カッコなし)	仕入先様の回答責任者の方の電話番号を入力して下さい。
	e-mail	○ 当てはまる場合のみ必須	半角英数	仕入先様の回答責任者の方の電子メールアドレスを入力して下さい。
	材料メーカー	会社名	○	指定なし
所属		○	指定なし	回答書を入力された材料メーカー様の所属部署を入力して下さい。
回答責任者		○	指定なし	回答書を入力された材料メーカー様の回答責任者を入力して下さい。
tel		○	半角数字 (ハイフン・カッコなし)	回答書を入力された材料メーカー様の電話番号を入力して下さい。
e-mail		○	半角英数	回答書を入力された材料メーカー様の電子メールアドレスを入力して下さい。

原材料成分調査書入力方法 - 材料詳細情報

一般的な注意事項

・すべて半角英数英文表記で記入して下さい

項目	入力		注意事項
	必須	書式	
材料情報			
原材料No.	○	半角英数大文字	・東海理化の管理番号です。弊社が記載した番号を変更しないで下さい。
材料名	○	半角英数大文字	・材料名を入力して下さい。
材料分類	○	半角英数	・p. 16の材料分類リストを参照して下さい。 ・セルに設定されているプルダウンリストから該当番号を選択して下さい。
メーカー名	○	半角英数大文字	・材料のメーカー名を入力して下さい。
メーカー商品名・グレード	○	半角英数大文字	・材料を特定できるメーカー商品名・グレードを入力して下さい。
色番号	○	半角英数大文字	・材料を特定できる色番号を入力して下さい。 ・該当しない場合には、「NA」を入力して下さい。
色	○	半角英大文字	・材料を特定できる色名を入力して下さい。 ・該当しない場合には、「NA」を入力して下さい。
TRES材料記号		半角英数大文字	・入力不要。
公的規格名	○	半角英数大文字	・JIS, ISO等の公的規格名を入力して下さい。 例) JIS H3100の場合、「JIS」と入力 ・該当しない場合には、「NA」を入力して下さい。
公的規格番号	○	半角英数大文字	・JIS, ISO等の公的規格番号を入力して下さい。 例) JIS H3100の場合、「H3100」と入力 ・該当しない場合には、「NA」を入力して下さい。
公的規格材料記号 (樹脂・ゴム・熱可塑性エラストマー以外)	○	半角英数大文字	・「公的規格名」と「公的規格番号」で定められている材料記号を入力して下さい。 (樹脂・ゴム・熱可塑性エラストマー以外) ・該当しない場合には、「NA」を入力して下さい。
公的規格材料記号 (樹脂・ゴム・熱可塑性エラストマーのみ)	○	半角英数大文字	・「公的規格名」と「公的規格番号」で定められている記号を入力して下さい。 (樹脂・ゴム・熱可塑性エラストマーのみ) ISO 1043, 1629, 18064などによる記号を入力 ・該当しない場合には、「NA」を入力して下さい。
備考	○ 当てはまる場合のみ必須	半角英数	・ELV指令の除外項目に当たるものは、該当する数字のみ入力して下さい。
リサイクル情報			
再生材使用率	○	半角数字	・材料に含まれる再生材の重量比率を「工程内」、「市場回収」それぞれについて、最小値及び最大値を入力して下さい。再生材使用率が固定値の場合は、最小値と最大値の両方に同じ数値を入力して下さい。 例) 10, 50, など。%は不要です。 ・該当しない欄には、「0」を入力して下さい。
化学物質情報			
機密物質	○ 当てはまる場合のみ必須	半角数字	・秘密保持契約を締結し100%成分開示して頂ける場合、機密物質に対して「1」を入力して下さい。 ・機密物質の合計は必ず10%未満にしてください。 ・但し、【GADSLリスト】と【東海理化 原材料調査規制物質リスト】の両リストに指定のある物質を機密物質にすることはできません。
物質名	○	半角英数大文字	・物質名を記入下さい。 ・「○○ COMPOUNDS(○○化合物)」という表現は使用不可です。
CAS No.	○	半角英数	・CAS No.を入力して下さい。 ・極力CAS No.に当てはめるようにして下さい。 ・桁数の区切りは「-」を入力して下さい。 ・当てはまるものがない場合のみ「NA」と入力して下さい。 但し、CAS No. 記入欄に「NA」と入力し、且つ【東海理化 原材料調査規制物質リスト】に記載の無い物質名を入力される場合には必ず宣言文を入力して下さい。

含有率	共通項目		<ul style="list-style-type: none"> 各化学物質の含有率を入力して下さい。 材料内の含有化学物質を100%開示して下さい。 含有率の合計を必ず100%にして下さい。 単位は、ppmではなく、%(パーセント)で統一して下さい。 「～以上」、「～以下」、「～超」、「～未満」、「<」、「>」、「+」、「-」という表現で入力しないで、必ず数値の絶対値を入力して下さい。 小数点以下6桁までで入力して下さい。
	含有率分類	○	半角数字 <ul style="list-style-type: none"> 固定値を指定する場合：1 範囲値を指定する場合：2 残部を指定する場合：3 上記番号をセルに設定されているブルダウニリストから選択して下さい。
	固定値	○	半角数字 <ul style="list-style-type: none"> 含有率が一意に決定する場合、固定値を入力して下さい。 固定値に含有率を入力した場合は、同じ物質の最小-最大/残部には入力しないで下さい。
	最小値	○	半角数字 <ul style="list-style-type: none"> 含有率にばらつきがある場合、最小値及び最大値にご記入下さい(必ず両方ともご記入下さい)。 最小値は、「0」以上の数値を入力して下さい。(できるだけ「0」より大きい数値でお願い致します) 構成物質が2つ以上ある場合、最大値は必ず「100」より小さい数字でご記入下さい。 最小-最大に含有率を入力した場合、同じ物質の固定値/残部には入力しないで下さい。 範囲値では、計算上平均値が用いられます。 例) $(68.5+71.5) \div 2=70$ 範囲値は以下の許容値の範囲内で入力して下さい。 材料中の基本物質の含有率 許容値の範囲 (最小値=LL%、最大値=UL%、許容公差M=UL%-LL%)
	最大値	○	半角数字 ①材料分類：5.1.x/5.2/5.3/5.4/5.4.x/5.5.1/6.2の場合 $0 \leq LL \leq 7.5 \Rightarrow M \leq 3$ $7.5 < LL \leq 20 \Rightarrow M \leq 5$ $20 < LL \leq 100 \Rightarrow M \leq 10$ ②材料分類：9.2の場合 $0 \leq LL \leq 5 \Rightarrow M \leq 4$ $5 < LL \leq 20 \Rightarrow M \leq 6$ $20 < LL \leq 100 \Rightarrow M \leq 10$ ③材料分類：①及び②以外 $0 \leq LL \leq 10 \Rightarrow M \leq 2$ $10 < LL \leq 20 \Rightarrow M \leq 4$ $20 < LL \leq 50 \Rightarrow M \leq 6$ $50 < LL \leq 100 \Rightarrow M \leq 10$ (材料分類については、p.16を参照)
JAMA含有目的コード	○	半角数字 <ul style="list-style-type: none"> p. 18の「JAMA含有目的コード」参照の上入力して下さい。 セルに設定されているブルダウニリストから該当番号を選択して入力して下さい。 	

入力情報チェック

原材料成分調査回答書 記入例

この調査依頼は、「グリーン調達」の一環として全仕入先様にご協力をお願いしているものです。「成分調査回答書」にて材料成分(全成分)の含有量をご記入の上、ご回答頂きますようお願い致します。

依頼部署： 調達部、技術管理部、施設環境部
 依頼者氏名： 原材料成分調査係
 仕入先依頼日： 2008/08/01
 回答期限： 2008/10/01
 回答送付先： 株式会社東海理化 原材料成分調査係
 E-mail: soc.material@exc.tokai-rika.co.jp

調査対象
 東海理化原材料No.： TR99999
 東海理化原材料名： ゴム屋 GRブレンドX D735G ダークグレー

宣言文記入欄

CAS No.を指定していない物質(*1)には、下記に記載したバージョンの「GADSLリスト」(*2)と「東海理化 原材料調査規制物質リスト」(*3)の両リスト内に記載のある成分は含まれていない事を証明します。			
GADSLリストのバージョン	2009 GADSL Ver.1	東海理化 原材料調査規制物質リストのバージョン	Ver1.0
会社名	ラバー卸株式会社	責任者名	代表取締役社長 護 敬志

- (*1)「東海理化 原材料調査規制物質リスト」(*3)に記載が無く、且つCAS No.を指定していない物質。
- (*2)下記のリンク先より「GADSLリスト」の最新版をご参照の上ご回答下さい。
(参照されたGADSLリストに記載されているバージョン情報をセルH2へご記入下さい)
<http://www.gadsl.org/>
- (*3)下記のリンク先より「東海理化 原材料調査規制物質リスト」を参照して下さい。
[東海理化 原材料調査規制物質リスト](#)

回答者情報

回答する材料成分情報は、下記報告日時点のデータであり、内容に相違ありません。報告内容に変更があった場合は、直ちに変更後の情報を報告します。新規材料についても、都度報告します。

報告日	2006/08/05
仕入先コード	9999
会社名	ラバー卸株式会社
所属	ラバー材事業部
回答責任者	権藤 瓜生
Tel	069876543
E-mail	u-gondo@rubberoroshi.com
会社名	ゴム屋株式会社
所属	材料分析部
回答責任者	材前 分児
Tel	061234567
E-mail	bunzai@gomuva.co.jp

材料詳細情報

材料情報											リサイクル情報			
原材料No. (弊社にて記入)	材料名 (半角英数大文字による英語名表記)	材料分類 (VDAコード/リストから選択)	メーカー名 (半角英数大文字による英語名表記)	メーカー商品名・グレード (半角英数大文字による英語名表記)	色番号 (半角英数大文字)	色 (半角英数大文字)	TRES材料記号 (弊社にて記入)	公的規格名	公的規格番号	公的規格材料記号 (樹脂・ゴム・熱可塑性エラストマー以外)	公的規格材料記号 (樹脂・ゴム・熱可塑性エラストマーのみ)	備考 (ELV指令適合No.)	再生材使用率 (工程内)	再生材使用率 (市場回収)
TR99999	LUBBER (CR) AND NATL	5.3	GOMUYA CO., LTD.	CR BLEND X	D735G	DARK GRAY		NA	NA	NA	NA		最小値	最大値
													0	0

化学物質情報							
機密物質	物質名 (半角英数大文字)	CAS No. (半角英数大文字)	含有率 (半角数字)			JAMA含有目的コード (半角数字)	
			含有率分類	固定値	最小値		最大値
	POLYCHLOROPRENE	9010-98-4	2		20.4	23.8	101
	NATURAL RUBBER	9006-04-6	2		15.6	17.4	101
	ZINC OXIDE	1314-13-2	1	1.2			103
	CALCIUM CARBONATE	471-34-1	2		16.8	18.6	106
	CARBON BLACK	1333-86-4	2		22.1	24.3	107
	MAGNESIUM OXIDE	1309-48-4	1	3.25			106
	THIRAM	137-26-8	1	0.3			107
	TITANIUM-DIOXIDE	13463-67-7	1	4.35			107
	DOP(1,2-BENZENEDICARBOXYL C ACID BIS(2-ETHYLHEXYL) ESTER)	117-81-7	1	6.55			106
	MISC	NA	3				999

※注意事項
 ①含有率に範囲値を使用する際は中間値((最小値+最大値)÷2)を算出いただき、合計が100%となる様に御願致します。
 (固定値との組み合わせ、範囲値のみで記入する場合)
 ②CAS No.を指定していない物質をご利用される場合には、必ず宣言文、会社名、責任者名、「GADSLリスト」のバージョンをご記入下さい。
 (該当しない場合には「該当無し」をお選び下さい)

この例はブレンドゴムなのでいずれも該当なしの「NA」となっていますが通常は、公的規格「ISO」、公的規格番号「1629」、公的規格材料記号には、「CR」や「NBR」などが入ります。

原材料成分調査回答書 悪い記入例

この調査依頼は、「グリーン調達」の一環として全仕入先様にご協力をお願いしているものとして「成分調査回答書」にて材料成分(全成分)の含有量をご記入の上、ご回答頂きますようお願いいたします。

依頼部署： 調達部、技術管理部、施設環境部
 依頼者氏名： 原材料成分調査係
 仕入先依頼日： 2008/xx/xx
 回答期限： 2008/xx/xx
 回答送付先： 株式会社東海理化 原材料成分調査係行き
 E-mail: soc.material@exc.tokai-nm.co.jp

調査対象
 東海理化原材料No. : M54123
 東海理化原材料名 : 材料メーカー CD1234E 890-56B ブラック

宣言文記入欄

該当無し	
GADSLリストのバージョン	東海理化 原材料調査規制物質リストのバージョン
会社名	責任者名

報告者情報

報告日	08/10/5
仕入先コード	9999
会社名	株式会社材料商社
所属	営業部 材料営業室
回答責任者	商社 一郎
Tel	0621234567
E-mail	email@shousha.com
会社名	株式会社材料メーカー
所属	成分開発部 調査室
回答責任者	製造 二郎
Tel	052-987-6543
E-mail	jiro@mail@Maker.Com

CAS No.を指定していない成分がある場合は宣言文の記載が必要となります。(記入例は、p.6, 7を参照)

材料成分情報は、下記報告日時点のデータであり、内容に変更があった場合は、直ちに変更後の情報を報告してください。報告日は西暦でYYYY/MM/DDの形式で入力してください。材料についても、都度報告します。

電話番号は、半角英数のハイフン・カッコなしで入力

メールアドレスは、半角英数で入力

(*1)「東海理化 原材料調査規制物質リスト」(*3)に記載が無く、且つCAS No.を指定していない物質。

(*2)下記のリンク先より「GADSLリスト」の最新版をご参照の上ご回答下さい。(参照をしたGADSLリストに記載されているバージョン情報をセル12へご記入下さい) <http://www.gadsl.org/>

(*3)下記のリンク先より「東海理化 原材料調査規制物質リスト」を参照して下さい。 [東海理化 原材料調査規制物質リスト](#)

材料詳細情報

原材料No. (弊社にて記入)	材料名 (半角英数大文字による英語名表記)	材料分類 (VDAコード/リストから選択)	メーカー名 (半角英数大文字による英語名表記)	メーカー商品名・グレード (半角英数大文字による英語名表記)	色番号 (半角英数大文字)	色 (半角英数大文字)	TRES材料記号 (弊社にて記入)	公的規格名	公的規格番号	公的規格材料記号 (樹脂・ゴム・熱可塑性エラストマー以外)	公的規格材料記号 (樹脂・ゴム・熱可塑性エラストマーのみ)	備考 (ELV指令適合NO.)	リサイクル情報			
													再生材利用率 (工程内)	再生材利用率 (市場回収)	最小値	最大値
M54231	ポリアセタール樹脂	5.1.b	株式会社材料メーカー	CD1234E				ISO	I043	NA	POM		0%	0%	0%	0%

原材料No.を変更しないで下さい。

材料詳細情報は、全て半角英数の英文表記でご記入下さい。

色番号・色は必須項目ですので必ずご記入下さい。(該当しない場合には「NA」と入力して下さい)

%は記入しないで下さい。

機密物質	物質名 (半角英数大文字)	CAS No. (半角英数大文字)	含有率分類	含有率(半角数字)			JAMA含有目的コード (半角数字)
				固定値	最小値	最大値	
	POM	NA		95.5			
	CARBON BLACK	1333-86-4	2		0.5	4.3	
	COPPER COMPOUND	NA	1	2%未満			
	FORMALDEHYDE	50-00-0	2		1ppm	3ppm	
	MISC	NA	3				

「～化合物」という表記では、化学物質を特定できません。絶対に使用しないで下さい。

「FORMALDEHYDE」は「GADSLリスト」内に記載があるので機密物質にはできません。

含有率の合計値は100%です。
 ・単位は、ppmではなく、% (パーセント) で統一して下さい。
 ・%は入力せず、数字のみ入力して下さい。
 ・範囲値では、計算上平均値が用いられます。
 例) 68.5+71.5/2=70
 ・「～以上」、「～以下」、「～超」、「～未満」、「<」、「>」、「≤」、「≥」、「+」、「-」という表現で入力しないで、必ず数値の絶対値を入力して下さい。
 ・含有率にばらつきがある場合、最小値及び最大値にご記入下さい。
 ・最小値は、できるだけ「0」より大きい数字でご記入下さい。
 ・構成物質が2つ以上ある場合、最大値は必ず「100」より小さい数字でご記入下さい。
 ・範囲値は以下の許容値の範囲内で入力して下さい。

材料中の基本物質の含有率 許容値の範囲
 (最小値=LL%、最大値=UL%、許容公差M=UL%-LL%)

- ①材料分類: 5.1.x/5.2/5.3/5.4.x/5.5.1/6.2の場合
 - 0 ≤ LL ≤ 7.5 ⇒ M ≤ 3
 - 7.5 < LL ≤ 20 ⇒ M ≤ 5
 - 20 < LL ≤ 100 ⇒ M ≤ 10
- ②材料分類: 9.2の場合
 - 0 ≤ LL ≤ 5 ⇒ M ≤ 4
 - 5 < LL ≤ 20 ⇒ M ≤ 6
 - 20 < LL ≤ 100 ⇒ M ≤ 10
- ③材料分類: ①及び②以外
 - 0 ≤ LL ≤ 10 ⇒ M ≤ 2
 - 10 < LL ≤ 20 ⇒ M ≤ 4
 - 20 < LL ≤ 50 ⇒ M ≤ 6
 - 50 < LL ≤ 100 ⇒ M ≤ 10

JAMA含有目的コード未記入

許容値の範囲をオーバーしています。(4.3-0.5=3.8)
 材料分類が5.1.bで最小値が0~7.5の間の場合は、許容値の範囲は「3」以下。

「JAMA含有目的コード」を参照

VDA材料分類 英日対照表

(グレーに着色した項目は選択不可)

材料分類名称 (英文)		材料分類名称 (和文)	
0	undefined		未定義
1	Steel and iron materials		鉄鋼及び鉄系材料
1.1	Steels / cast steel / sintered steel		鉄鋼/鑄鋼/焼結合金
1.1.1	unalloyed, low alloyed		非合金、低合金鋼
1.1.2	highly alloyed		高合金鋼
1.2	Cast iron		鑄鉄
1.2.1	Cast iron with lamellar graphite / tempered cast iron		片状黒鉛鑄鉄/可鍛鑄鉄
1.2.2	Cast iron with nodular graphite / vermicular cast iron		球状黒鉛鑄鉄/バーミキュラー鑄鉄
1.2.3	Highly alloyed cast iron		高合金鑄鉄
2	Light alloys, cast and wrought alloys		軽合金、鑄造・鍛造合金
2.1	Aluminium and aluminium alloys		アルミニウム、アルミニウム合金
2.1.1	Cast aluminium alloys		鑄造アルミニウム合金
2.1.2	Wrought aluminium alloys		鍛造アルミニウム合金
2.2	Magnesium and magnesium alloys		マグネシウム、マグネシウム合金
2.2.1	Cast magnesium alloys		鑄造マグネシウム合金
2.2.2	Wrought magnesium alloys		鍛造マグネシウム合金
2.3	Titanium and titanium alloys		チタン、チタン合金
3	Heavy metals, cast and wrought alloys		重金属、鑄造・鍛造合金
3.1	Copper (e.g. copper amounts in cable harnesses)		銅(例、ケーブルハーネスの銅)
3.2	Copper alloys		銅合金
3.3	Zinc alloys		亜鉛合金
3.4	Nickel alloys		ニッケル合金
3.5	Lead		鉛
4	Special metals		特殊金属
4.1	Platinum / rhodium		白金/ロジウム
4.2	Others special metals		その他の特殊金属
5	Polymer materials		高分子材料
5.1.a	filled Thermoplastics		フィラー(充填材)を含有する熱可塑性樹脂
5.1.b	unfilled Thermoplastics		フィラー(充填材)を含有しない熱可塑性樹脂
5.2	Thermoplastic elastomers		熱可塑性エラストマー
5.3	Elastomers / elastomeric compounds		エラストマー/エラストマー複合材
5.4	Duromers		熱硬化性樹脂
5.4.1	Polyurethane		ポリウレタン
5.4.2	Unsaturated polyester		不飽和ポリエステル
5.4.3	Others duromers		その他の熱硬化性樹脂
5.5	Polymeric compounds (e.g. inseparable laminated trim parts)		高分子複合材(例、ラミネートされ分離できないトリム部品)-選択不可
5.5.1	Plastics(in polymeric compounds)		高分子複合材に含まれる樹脂
5.5.2	Textiles(in polymeric compounds)		高分子複合材に含まれる繊維(織物)
6	Process polymers		プロセスポリマー
6.1	Lacquers		塗料
6.2	Adhesives, sealants		接着剤、シーラント
6.3	Underseal		アンダーシール
7	Other materials and material compounds (scope of mixture)		その他材料、複合材
7.1	Modified organic natural materials (e.g. leather, wood, cardboard)		有機天然材料(例えば皮革、木材、段ボールなど)
7.2	Ceramics / glass		セラミック/ガラス
7.3	Other compounds (e.g. friction linings)		他の複合材(例えば、摩擦ライニング)
8	Electronics / electrics		電気/電子部品材料
8.1	Electronics (e.g. pc boards, displays)		電子部品材料(例、プリント基板、ディスプレイ)
8.2	Electrics		電気部品材料
9	Fuels and auxiliary means		燃料及び補充材
9.1	Fuels		燃料
9.2	Lubricants		潤滑剤
9.3	Brake fluid		ブレーキフルード
9.4	Coolant / other glycols		冷却液/その他グリコール
9.5	Refrigerant		冷媒
9.6	Washing water, battery acids		ウォッシュャー液、バッテリー液
9.7	Preservative		防腐剤
9.8	Other fuels and auxiliary means		その他の燃料と補充材

付属書 II (2005/673/EC) 改訂: 2005年9月20日

第4条(2)(b)から免除される材料とコンポーネント

No.	材料及びコンポーネント	免除の範囲及び満了日	第4条(2)(b)(iv)に従ってラベル表示又は識別できるようにする
合金要素としての鉛			
1.	重量で0.35%までの鉛を含む機械加工用の鋼と亜鉛メッキ鋼	-	
2(a).	重量で1.5%までの鉛を含む機械加工用のアルミニウム	2008年7月1日(除外期間終了)	
2(b).	重量で0.4%までの鉛を含む機械加工用のアルミニウム	-	
3.	重量で4%までの鉛を含む銅合金	-	
4.	ベアリングシェル及びブッシュ	2008年7月1日(除外期間終了)	
コンポーネントに使用される鉛及び鉛化合物			
5.	バッテリー	-	X
6.	バイブレーションダンパ	-	X
7(a).	重量で0.5%までの鉛を含むフルードハンドリング及びパワートレインに使用されるエラストマーの加硫剤と安定剤	2006年7月1日(除外期間終了)	
7(b).	重量で0.5%までの鉛を含むパワートレインに使用されるエラストマーの結合剤	-	
8.	電子回路基板及びその他の電気使用のはんだ	-	X(i)
9.	重量で0.4%を超える鉛を含むブレーキライニングの摩擦材料内の鉛	2007年7月1日(除外期間終了)	X
10.	バルブシート	2003年7月1日以前に開発されたエンジン型式: 2007年7月1日(除外期間終了)	
11.	バルブのガラス及び点火プラグの上塗りを除くガラス又はセラミック基盤の混合物中に鉛を含んだ電子部品	-	X(ii)(エンジン内にあるピエゾ以外のコンポーネントの場合)
12.	起爆剤	2006年7月1日以前に型式認可された車両とそれらの車両の交換用起爆剤(除外期間終了)	
6価クロム			
13(a).	腐食防止コーティング	2007年7月1日(除外期間終了)	
13(b).	シャシーに利用する組立てボルト及びナットに関連する腐食防止コーティング	2008年7月1日(除外期間終了)	
14.	キャンピングカーの吸収式冷凍機	-	X
水銀			
15.	ディスプレイランプ及び計器パネル表示盤	-	X
カドミウム			
16.	厚膜ペースト	2006年7月1日(除外期間終了)	
17.	電気車両用バッテリー	2008年12月31日以降ニッカド電池を市場におくことはその日付以前に市場におかれる車両の補給品としてのみ	X
18.	ドライバーアシスタンスシステムに使用されるガラス基盤の光学部品	2007年7月1日(除外期間終了)	X

- (i) 11項との相互関係で、1車両につき60gの平均しきい値を超える場合取り除くこと。本条項の適用に関して、製造ライン上で製造者によって組付けられない電子装置は考慮されないものとする。
- (ii) 8項との相互関係で、1車両につき60gの平均しきい値を超える場合取り除くこと。本条項の適用に関して、製造ライン上で製造者によって組付けられない電子装置は考慮されないものとする。

注)

- 鉛、6価クロム、水銀については、同一の材料につき重量で0.1%まで、カドミウムについては同一の材料につき0.01%までの最大濃縮値が許容されるものとする。
- 免除満了日に既に市場にあった車両の部品の再利用は、制限無しに許容される。なぜなら、第4条(2)(a)によって包含されていないからである。

JAMA含有目的コード

JAMA含有目的コード		
101	主成分	Main Component
102	熱安定性向上	Thermal Stability
103	加硫剤	Valcanizing Agent
104	顔料・着色料	Dyes , Pigment
105	難燃性向上	Flame Resistance
106	加工性向上	Machining
107	機械特性向上	Mechanical Property
108	摩擦・磨耗特性向上	Triboperformance
109	防錆性向上	Corrosion Resistance
110	電気特性向上	Electric Characteristic
998	意図せずに含有	Impurity(Unintentional Presence)
999	該当なし	Others
[補足説明]		
機械特性向上 ... 材料物性確保・向上、機械特性向上の目的の場合 強化剤、充填強化材、反応促進剤・触媒のほか 耐久性、防水性、耐油性向上等の目的のものは この機械特性向上に含めてよい		
ELV指令2000/53/EC, ANNEXII(適用除外)との関連は以下。		
1.機械加工目的の鋼と亜鉛メッキ(鉛 \leq 0.35wt%) \Rightarrow 106 加工性		
2b.機械加工用のアルミニウム(鉛 \leq 1wt%) \Rightarrow 106 加工性		
2b.機械加工用のアルミニウム(鉛 \leq 1wt%) \Rightarrow 106 加工性		
8.液体処理とパワートレーン部品へ適用される エストラマーの加硫剤 \Rightarrow 103 加硫剤 と安定剤 \Rightarrow 102 熱安定性向上		
9.保護塗料中の安定剤 \Rightarrow 102 熱安定性向上		